

## 古川貞二郎顧問著：「鎮魂 ハルの生涯」初版発刊祝い



懇親会で挨拶される古川貞二郎顧問

小説名「**鎮魂ハルの生涯**」(文藝春秋企画出版部/2019年9月30日初版)  
「鎮守の杜の闇を抜けて、ハルはどこに向かうのか。行政一筋、己の道を歩む伸二に、悔いはないのか。鎮守の杜で見つけたものは……。」

在任歴代最長の官房副長官が虚心坦懐に、若き日々をつづる。」

「今は失われたかに見える日本の原風景、家族のかたち、母と子の交流を中心に、行政の道一筋に歩き続けた佐賀出身の著者が亡き母への深い思いを込めて、みずみずしくつづる初の小説―」

「子を思い、母を想う心こそ、地球人の誇りではないでしょうか！」(向井千秋)

各書店店頭販売はされていないので要注意！

入手方法は、アマゾンへ申し込み、購入して下さい。

・定価：¥1,500 (税抜)